学校番号	１０８

令和２年度　芸術（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	学年	２年
使用教科書	書道Ⅱ（東京書籍）						
副教材等	なし						

1. 担当者からのメッセージ（具体的な取組）

- 漢字の成立と併せて古典を臨書し、技術及び表現力を高める。
- 仮名の用筆法を学習し、漢字仮名作品制作の幅を広げる。
- 書以外の芸術作品に目を向け、現代を意識した作品に取り組む。

2. 学習の到達目標

- 書道１で学習した基礎を下に創作を中心に作品を制作する。
- 古典作品を幅広く学習して表現力を深める。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への関心・意欲・態度	b：書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創作的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書の良さや美しさを感じ取り、感性を働かせながら自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け、表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書の良さや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 提出作品 レポート	観察 提出作品 レポート	観察 提出作品 レポート	観察 提出作品 レポート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				

4. 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生活の中の書：絵葉書	墨と彩色を兼ねた作品 季節や用途に合わせ、墨以外の素材も取り入れた葉書作品（一年次の担任に送る）			○		a:暮らしの中に書を生かしたり、暮らしの中に生かされている書に関心をもとうとしている。 b:絵と文字で想いを伝える工夫をしている。 c一年次の書の学習を生かし、書と絵の融合を工夫している。 d:用途に応じた表現を味わうことができる。	観察 提出作品
	隷書	隷書の古典臨書から創作作品へ展開		○	○		a:隷書に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:隷書の特徴を生かして表現出来るように工夫している。 c:隷書の特徴を理解し、漢詩の作品制作に生かすことが出来ている。 d:隷書體の成立や特徴を理解し現代的意義を理解している。	観察 提出作品 レポート

1学期	篆書 表具 旧第一学区書道展、出品、鑑賞	篆書の古典臨書から、創作へ展開 作品表具 作品展鑑賞		○	○	○	a:篆書に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:篆書の特徴を生かして表現出来るように工夫している。 c:篆書の特徴を理解し、様々な文言の作品制作が出来るように工夫している。 d:篆書體の成立や特徴を理解し歴史的及び現代的意義を理解している。	観察 提出作品 レポート
	生活の中の書：暑中葉書	墨、彩色の調和 宛名書き			○	○	a:暮らしの中に書を生かしたり、暮らしの中に生かされている書に関心を持とうとしている。 b:書の学習で身に着けたことを生かす工夫をしている。 c:暑中見舞葉書に効果的な表現を工夫している。葉書の実用書式を理解して書くようにしている。 d:暑中葉書に書の良さが生かされていることを味わっている。	観察 提出作品 レポート
2学期	展覧会鑑賞(夏期休暇)	書、絵画、写真等の展覧会を鑑賞してレポート作成	○			○	a:様々な芸術作品に触れることにより鑑賞する喜びを味わい、芸術作品の伝統や文化に関心を持ち、主体的に鑑賞に取り組もうとしている。 d:書、絵画彫刻、写真等様々な分野の作品を鑑賞することにより、美の発見に努めている。 又、書の独自性の理解している。	観察 提出作品 レポート
	草書	草書の古典臨書から創作作品へ展開		○	○		a:草書に関心を持ち、様々な古典の書風を理解し草書の用筆や運筆などの特徴に関心を持っている。 b:古典の特徴を生かした表現を工夫している。 c:古典の用筆、字形を基本にして自分の思いや意図に応じた表現をすることが出来る。 d:古典に基づく表現と独自の表現について理解している。	観察 提出作品 レポート
	漢字創作 表具	漢字1～2字の大字作品 (自選の語句による大字作品) 作品表具	○	○	○	○	a:漢字の書の創作に意欲的に取り組み表現の構想から完成までの充実感や達成感を味わおうとしている。 b:表現意図に応じた工夫をしている。 c:古典を基に用筆や構成を工夫することが出来る。 表現意図に応じた工夫が出来る。 d:古典に基づく表現と独自の表現について理解している。	観察 提出作品 レポート
	漢字創作 表具(10月の続き)	毎回作品の鑑賞を繰り返し、制作者の意識を高めると共に、お互いの作品の長所、短所を発表して作品の完成度を高める	○	○	○	○	a:漢字の書の創作に意欲的に取り組み表現の構想から完成までの充実感や達成感を味わおうとしている。 b:表現意図に応じた工夫をしている。 c:古典を基に用筆や構成を工夫することが出来る。 表現意図に応じた工夫が出来る。 d:古典に基づく表現と独自の表現について理解している。	観察 提出作品 レポート
2学期	生活の中の書：年賀状	墨と彩色の調和 宛名書き		○	○		a:暮らしの中に書を生かそうとしている。 b:暮らしの中で四季に応じた工夫をしている。 c:用途に応じた工夫をしている。 d:書道の学習で学んだ感性や表現技法が、暮らしの中に生かされていることを理解し、良さや	観察 提出作品

							美しさを味わっている。	
3学期	漢字仮名交じりの書:現代絵巻物作品	奉書紙に墨と彩色により絵巻物を作成(8m以上) 巻物の題材は各自自由		○	○	○	a:日本語の美しさや言葉の豊かさに関心を持ち、表現の構想から完成に至る達成感、充実感を味わおうとしている。 b:意図に応じた工夫をしている。 c:書の文字を生かすために彩色を施すなど意図を明確にして、表現を工夫している。 d:墨色と彩色の相互作用を理解している。 書表現により、自らの思いを他者に伝えることができることを理解している。	観察 提出作品 レポート
	漢字仮名交じりの書:現代絵巻物作品(1 月の続き)	完成した巻物は表紙、タイトル、紐をつける 巻物鑑賞		○	○	○	a:日本語の美しさや言葉の豊かさに関心を持ち、表現の構想から完成に至る達成感、充実感を味わおうとしている。 b:意図に応じた工夫をしている。 c:書の文字を生かすために彩色を施すなど意図を明確にして、表現を工夫している。 d:墨色と彩色の相互作用を理解している。 書表現により、自らの思いを他者に伝えることができることを理解している。	観察 提出作品 レポート

＊表中の観点について
a：書への関心・意欲・態度　　b：書表現の構想と工夫
c：創造的な書表現の技能　　d：鑑賞の能力

＊原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価をおこなう観点（もしくは重み付けを行なう観点）について〇をつけている。